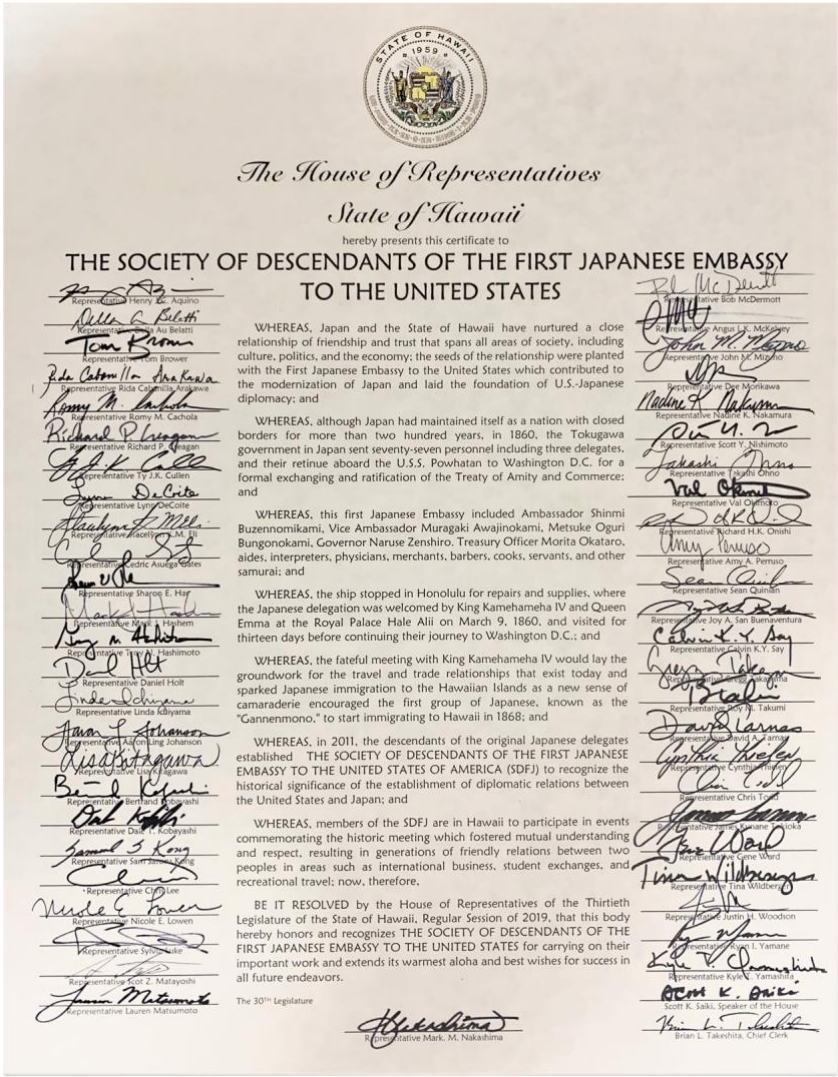


ハワイ州下院による認定証



ハワイ下院はこの認定書を第一回遣米使節の子孫の会（万延元年遣米使節子孫の会）に贈るものである

日本とハワイは、文化・政治・経済を含む社会全体に及ぶ親密な友好関係を育んでいるが、この関係の種を蒔いたのが、日本の近代化と日米外交の設立にも寄与した第一回の遣米使節である；そして

日本は200年以上に亘り鎖国体制を維持してきたが、徳川幕府は1860年に、日米修好通商条約の正式な批准のために3名の使節とその従者を含む77名をポーハタン号に乗せてワシントンD.C.に派遣した；そして

この使節団は、正使新見豊前守、副使村垣淡路守、目付小栗豊後守、外国方成瀬善四郎、勘定方森岡太郎、その他の補佐官、通訳、医師、理髪師、料理人、従者その他の侍から構成されていた；そして

ポーハタン号は修理と補給のためホノルルに寄港し、1860年3月9日に使節団がカメハメハ4世とエマ女王によりハレ・アライ王宮にて歓迎され、ワシントンD.C.へ再び出航するまで13日間滞在した；そして

カメハメハ4世との運命的な出会いは、今日における旅行と貿易関係の基礎を据えるものであり、1868年からの「元年者（がねんもの）」として知られる最初の日本からハワイ移民によって新しい意味での友誼が始まることとなった；そして

万延元年遣米使節子孫の会は、使節一行の子孫によって、日米外交関係設立の歴史的重要性を再確認するため2011年に設立された；そして

万延元年遣米使節子孫の会の会員は、二つの民族間の相互理解と互敬を育み、国際ビジネス・学生交換・観光などといった分野における何世代にもわたる友好関係を生んだ歴史の出会いを記念する行事に参加するためハワイを訪れた；そして

2019年定例第30回議会のハワイ下院は、万延元年遣米使節子孫の会がその重要な任務を果たし続けてきたことに対し、その名誉を称えとともに、将来のご尽力の成功と幸運を衷心より祈念することを茲に決議する。

第30回議会、議長マーク中島（署名した51名の議員の名前は省略）